

【事務所 新設·移転工程例】

1	事業内容確認	3~5年事業計画、人員計画、シナリオを2つから3つ検討するとよいでしょう。
2	地域選定	顧客/サプライヤー/競合社などの所在・住居環境・空港アクセス面から検討します。
3	物件情報入手	予算・機能・外観・付帯設備・周辺環境などご希望を明確にされると効率良く行えます。
4	現地視察	初回で感覚をつかみ、二回目に絞り込み、三回目以降は具体的な目的を持って視察します。
5	条件交渉	ブローカーの仕事>賃料・契約期間・内装要望など、基本事項の交渉します。
6	契約書交渉	弁護士の仕事>上記が確定した時点で、法律的条項を交渉します。
7	契約書締結	両者合意し署名するまでは、双方とも何の確約も取りませんのでご注意ください。
8	内装工事(許認可含む)	条件交渉時に作成する基本図面を基に、壁/カーペットなどの素材・色・電源の場所など詳細を詰めます。
9	竣工検査	オフィスの場合は問題はほとんどありません。
10	引越し	ビルによっては時間制限あり、ユニオン加盟の有無による業者選定が必要になります。

【テナント側で手配するもの】

11	電話会社選定>工事手配	2ヶ月前には、選定・手配されていた方が安心でしょう。
12	IT会社選定>工事手配	移転場所が決まる頃には選定が必要ですが、実際に図面が仕上がらないと見積りはできません。
13	家具手配	在庫があれば一ヶ月前に、特注は3ヶ月前に手配が必要でしょう。
14	セキュリティーシステム	必要な場合とそうでない場合がありますので、ご相談ください。
15	引越会社選定>手配	上記の通り、ユニオン加盟・価格など状況に応じてご相談ください。

